【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和5年6月2日(2023.6.2)

【国際公開番号】WO2020/243080
【公表番号】特表2022-534473(P2022-534473A)
【公表日】令和4年8月1日(2022.8.1)
【年通号数】公開公報(特許)2022-139
【出願番号】特願2021-564391(P2021-564391)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｄ 29/07(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 46/52(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｄ 29/06 ５１０Ｄ
Ｂ０１Ｄ 46/52 Ｃ
Ｂ０１Ｄ 46/52 Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和5年5月25日(2023.5.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
フィルタ要素の高さに沿って延在する中心長手方向軸と、
前記フィルタ要素の高さの少なくとも一部に沿って延在するコア要素であって、前記コア要素は、前記コア要素の幅を画定するために第１の端部から第２の端部に延在する凸状に湾曲した中心部を含み、前記凸状に湾曲した中心部は、前記第１及び第２の端部の少なくとも一方の高さより大きい前記中心長手方向軸を通る最大高さを含む、コア要素と、
前記コア要素の外周から半径方向に延在する複数のプリーツを含むフィルタ材料であって、前記フィルタ材料の円筒外周は、前記複数の半径方向に延在するプリーツのそれぞれの外部プリーツ先端によって画定され、前記半径方向に延在するプリーツのそれぞれの内部プリーツ先端は、前記コア要素に隣接する、フィルタ材料と、を含む、円筒フィルタ要素。
【請求項２】
前記コア要素の前記第１及び第２の端部は同じ高さを有する、請求項１に記載の円筒フィルタ要素。
【請求項３】
少なくとも１つの内部プリーツ先端は、前記コア要素の前記中心部の前記第１及び第２の端部の一方に隣接する、請求項１に記載の円筒フィルタ要素。
【請求項４】
前記第１及び第２の端部の少なくとも一方に隣接した面積は、いかなる半径方向に延在するプリーツも含まない、請求項１に記載の円筒フィルタ要素。
【請求項５】
フィルタ要素の高さに沿って延在する中心長手方向軸と、
前記フィルタ要素の前記高さの少なくとも一部に沿って延在するコア要素であって、前記コア要素は、前記コア要素の幅の少なくとも一部に沿って第１の端部から第２の端部に延在する凸状に湾曲した中心部を含み、前記凸状に湾曲した中心部は、前記第１及び第２の

端部の少なくとも一方の長さより大きい前記中心長手方向軸における、又は前記中心長手方向軸に概ね隣接した最大長さを含む、コア要素と、
前記コア要素の外周から半径方向に延在する複数のプリーツを含むフィルタ材料であって、前記フィルタ材料の円筒外周は、前記複数の半径方向に延在するプリーツのそれぞれの外部プリーツ先端によって画定され、前記半径方向に延在するプリーツのそれぞれの内部プリーツ先端は、前記コア要素に隣接する、フィルタ材料と、を含む、円筒フィルタ要素。